

## 議事概要記録

開催日時	平成 26 年 7 月 5 日 9 時 30 分～11 時 30 分	開催場所	かんぼの宿 紀伊田辺 2階 第 3 会議室
会議種別	平成 26 年度 第 3 回常務会理事会	議 長	
		書 記	田中 規仁
出席者 〈敬称略〉	玉置 達紀、竹中 正人、畑 忠良、大石 博晃、田中 規仁		
欠席者 〈敬称略〉	木下 博之	オブザーバー	
次 第			
議事概要	<p>災害に関する研修会について</p> <p>日臨技専務理事について</p> <p>検査説明・相談ができる技師育成事業（10 月 17・18 日）について</p> <p>和歌山県医学検査学会企画運用ガイドと各種文書について</p> <p>近畿支部医学検査学会について</p> <p>和歌山県立医科大学医学振興会記念助成事業申請について</p> <p>検体測定室に関するガイドラインについて</p> <p>第 36 回和歌山県医学検査学会について</p>		
決議事項 及び 継続事項	<p>災害に関する研修会について</p> <p>「和臨技災害フォーラム」に日臨技として災害が有った時にどういった体制があるのかを聞くべく長澤理事派遣要請に対したが、否認との連絡があった。再度派遣要請依頼をした。</p> <p>日臨技専務理事について</p> <p>専務理事役職の登用に対して、各県幹事に何ら説明がない旨の意見を、支部長を通して日臨技に説明を求めたと会長から報告が有った。</p> <p>検査説明・相談ができる技師育成事業（10 月 17・18 日）について</p> <p>日曜の午前のセッションに、佐守先生（検査医会）と朝山先生（日臨技）が講師と決定したとのことであった。これで全てのスケジュールが確定したので、予算を含めたすべての企画書を早々に作成すると報告が有った。</p> <p>和歌山県医学検査学会企画運用ガイドと各種文書について</p> <p>ほぼ完成版に近いものとなっている。学会抄録集広告の再募集について、学会事務局が行うのか、和臨技事務局が行うのか審議した。</p> <p>広告再募集の文書は、学会事務局・和臨技経理部・和臨技事務局の 3 者で情報を共有しながら、和臨技事務局が発する事とした。また、送付が必要な企業を学会事務局が明確に和臨技事務局へ伝えることとした。</p> <p>今後の実運用で問題点を洗い出していくこととなった。</p>		

近畿支部医学検査学会について

前回の理事会にて承諾を得た 2016 年度の近畿支部医学検査学会（第 56 回）担当県受諾について、先日の近畿支部幹事会にて正式に決定した。

2016 年は日臨技医学検査学会が神戸で IFBLS と合同の 9 月開催になるため、日臨技から 1 年の延期も含めた打診があったが、和臨技としては 6～7 月開催で行う旨の陳述を、支部長を通じて日臨技に申し出るとの説明があった。

本学会の学会長を竹中副会長が務めることを常務会にて提案、この後の理事会にて審議を仰ぐ事とした。決定されれば、速やかに実行委員長はじめ実行委員を立ち上げる事とした。

会場は、和歌山駅前の J A 会館を第 1 候補として、実行委員会に委ねることとした。

和歌山県立医科大学医学振興会記念助成事業申請について

県民啓発事業助成として「和臨技災害フォーラム」を、講演会等開催助成として、和臨技精度管理事業と学術部合同セミナーで申請することとした。

検体測定室に関するガイドラインについて

和歌山県では監督官庁が和歌山県医務課になる。ゆえに今後、県下で検体測定室開設等の届け出などの動きがあれば、直ちに和臨技に一報いただく旨の申し入れを県知事と病院協会会長並びにメディカルスタッフ団体との交流会の場で申し入れたとのことであった。

和歌山学会について

従来のランチョンセミナー時間帯については、1 社あたり 15 分の企業プレゼン（仮称）を 4 社程度募集する旨の計画があることについて説明があり、理事会にて審議を仰ぎたいとの申し出が畑副会長よりあった。

記録作成	平成 26 年 7 月 26 日	氏 名	田中 規仁	提 出	平成 26 年 7 月 26 日
------	------------------	-----	-------	-----	------------------

※ 諮問委員会で「報告書」が提出される場合、「委員会議事録」が別途作成添付される場合は添付資料で可